

## 平成19年（暦年）入込観光客「推計」調査の概要

### （1）調査の目的

この調査は、本県の観光地に来遊する観光客を調査（推計）し、今後の観光行政施策等に役立てることを目的とする。

### （2）調査方法

県内全市町村からの報告に基づいて集計した。

### （3）調査の要領

#### ア 調査の範囲

県内全市町村（各市町村単位）

#### イ 調査の期間

平成19年1月1日から平成19年12月31日まで1年間

#### ウ 調査事項

##### （ア）観光客の目的別の入込客数

ハイキング及び登山、花見及び紅葉狩り、釣り、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学、遊園地、各種行事・まつり見学、スポーツ（観覧客、ゴルフ、テニスなど。）、産業観光（観光農業を含む。）、その他（ドライブ、ボート遊び、修学旅行など。）。

##### （イ）県内・県外別（日帰り・宿泊）の入込客数

##### （ウ）利用交通機関別の入込客数

##### （エ）消費金額

### （4）調査結果

#### ア 観光客入込の動向

平成19年1月1日から平成19年12月31日までの入込客数は、1億1,148万人と推計され、前年の1億1,019万人と比べて、129万人増加し、率では1.2%の増加となった。

目的別では、各種行事まつり見学客が前年より89万人減少したものの、11年連続で1位となった。前年と同じく2位のスポーツ客は、30万人増加した。3位の産業観光客は前年より165万人増加し、順位も4位から3位となった。4位の遊園地客は前年より59万人増加したものの、順位は3位から4位となった。なお、前年と比較すると、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客、花見客及び紅葉狩り客、釣り客は増加となったが、ハイキング及び登山客、その他は減少となった。

イ 県内・県外別の状況

県内客 6,655 万人（構成比 59.7%）、県外客 1,881 万人（構成比 16.9%）、不明 2,612 万人（構成比 23.4%）であった。

ウ 日帰り・宿泊の状況

日帰り客 8,341 万人（構成比 74.8%）、宿泊客 195 万人（構成比 1.8%）、不明 2,612 万人（構成比 23.4%）であった。

エ 利用交通機関別の状況

利用交通機関別で入込順位をみると、自家用車が圧倒的に多く 4,489 万人、次いで鉄道 1,934 万人、その他 1,384 万人、バス 692 万人の順（不明 2,649 万人を除く。）であった。

オ 目的別の状況

目的別の入込状況をみると、各種行事まつり見学客 2,632 万人（構成比 23.6%）、スポーツ客 2,330 万人（構成比 20.9%）、産業観光客 1,549 万人（構成比 13.9%）、遊園地客 1,473 万人（構成比 13.2%）、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客 1,149 万人（構成比 10.3%）、花見客及び紅葉狩り客 691 万人（構成比 6.2%）、ハイキング及び登山客 299 万人（構成比 2.7%）、釣り客 91 万人（構成比 0.8%）、その他 934 万人（構成比 8.4%）となった。

カ 消費金額の状況

消費金額の総計は 1,115 億円（54 市町村）である。1 人当たりの消費金額は 1,475 円で、前年に比べ 79 円、5.7%の増となった。

キ 月別の状況

観光客数については、8 月、10 月、4 月、11 月の順に多い。また、消費金額については 10 月、8 月、11 月、4 月の順に多い。